

みんなの想い、市政に反映—伝えてつなく、明るい社会

# 西宮市議会だより



発行：西宮市議会 編集：広報委員会 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号 ☎(0798)35-3377



「夙川と桜と阪急電車」 撮影：玉井 勝典さん(弓場町在住)  
 昨年8月～9月に募集した作品の中から広報委員会において、上の作品が選ばれました。

## 3月定例会

### 第119号

目次

- 代表質問 ..... 2～3
- 各委員会の活動状況 ..... 3
- 一般質問 ..... 4～7
- 請願 ..... 7
- 3月定例会 主な審議日程など ..... 7
- 議案等審議結果一覧表 ..... 8
- 6月定例会日程について ..... 8

## 3月定例会の主な内容

△代表質問▽  
 △市長と教育委員会委員長が平成26年度西宮市行政方針および教育委員会行政方針を表明しました。これらに対して、議会の会派代表者から代表質問が行われました。代表質問の一部については、2面、3面に掲載しています。

△議員提出議案▽  
 条例  
 △西宮市の組織の再編などに伴い、常任委員会の所管事項を変更することを内容とする、西宮市議会委員会条例の改正案を可決しました。

意見書の提出  
 △「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書」を内閣総理大臣、厚生労働大臣などに提出しました。

△市長提出議案▽  
 平成26年度当初予算 カッコ内は前年度比  
 △一般会計 1678億4029万円(4・3%増)  
 △特別会計 876億2208万円(8・1%増)  
 △企業会計 510億8568万円(21・8%増)  
 一般会計予算は、前年度に比して、児童発達支援センター1等整備事業、市営住宅整備事業などが増額になる一方、第46小学校新設事業、消防局車両等整備事業などが減額になり、総額として4・3%の増となっています。また、新規事業には西宮市新体育館整備事業などがあります。

条例  
 △平成26年度の間、一般職員の給料の減額を行うことを主な内容とする、西宮市一般職員の給与に関する条例の改正案を可決しました。

▽病院事業に地方公営企業法の全部を適用することに伴い、病院事業管理者の給与について定めることを主な内容とする、病院事業管理者の給与に関する条例案を可決しました。

紙面中の一部の会派名は、略称で掲載しています。  
 政新会…政新会、公明党…公明党議員団、市民ク改革…市民クラブ改革、蒼士会…蒼士会、  
 日本共産党…日本共産党西宮市会議員団、むの会…むの会

# 代表質問 要旨

質問順に掲載しています

2月28日、3月3日の2日間にわたり、各会派の代表が平成26年度西宮市行政方針・西宮市教育委員会行政方針に対する質問を行いました。紙面の都合から、一部を要旨で掲載します。  
※「問」の部分は、質問した議員が作成しています。

## 市の組織再編

### 市民のメリットは

(政新会) 大石 伸雄

**問** 今回の組織再編は、これまでの体制に内包された矛盾点を解消する大胆な試みに感じますが、市民にはどのようなメリットがあるのか。

**答** 行政環境の変化と新たな課題に対応するため、より機能的、効率的な執行体制とすることで、市民生活のさまざまなサービス向上につながると考える。

## 第2期教育振興

### 基本計画について

(政新会) 大石 伸雄

**問** 我が国を取り巻く危機的状況を回避し教育再生を実現するための教育行政の基本的方向性が示されたが、教育委員会行

## 政方針との整合性は

**答** 西宮型小中一貫教育に象徴される縦のつながり、教育連携協議会を核とした横のつながりは、国の計画を具現化したものであり、今後も国や県の基本理念を踏まえ学校教育の充実、社会教育にも注力する。

## 市長の4年間の総括

### 予算案への反映は

(むの会) 西田いさお

**問** 行政方針・予算案の考え方について、河野市長が取り組んだ4年間への総括を踏まえ、今後の取り組みと予算案へどのように反映させたか聞きたい。

**答** 第4次総合計画を念頭に、中央病院や西宮消防署などの移転整備、第46小学校の新設整備にあわせ、南海トラフ巨大地震などへの対策や子育て支援の充実など、多様な市民ニーズに対応できるよう予算を編成した。

## アサヒビル跡地

### 民間利用地の規制は

(むの会) 西田いさお

**問** アサヒビル工場跡地の民間利用地について周辺環境に適合する規制が必要と思うが考え方を聞きたい。

**答** 地区計画制度を導入する

ことで、風俗営業関連施設や周辺環境への影響が大きい工場の立地を制限し、壁面位置の制限や公共空地の確保など、良好な都市環境となるよう誘導する。

## 子育て広場

### 今後の展開は

(蒼土会) 木村嘉三郎

**問** 0〜2歳児の子供をもつ世帯の8割が在宅で子育てを行い、その多くが不安を抱えている。気軽に行きやすい相談ができる子育て広場は重要であり、今後の展開について聞きたい。

**答** 26年度は、学校・幼稚園などの既存施設を活用し、2カ所を新設して、次世代育成支援行動計画目標の20カ所を達成するよう努める。今後は、地域サロンと連携強化するなど子育て環境の充実を図る。

## 総合福祉センター

### 周辺地域の整備は

(蒼土会) 木村嘉三郎

**問** 「わかば園」の移転に伴い、跡地を含めた総合福祉センター周辺地域を高齢・障害者の活動拠点として、どのような視点で再整備するのか聞きたい。

**答** 利便性、効率性、安全性の視点から検討し、健康・福祉

に関する全市的施設の再配置も視野に入れて進める。



西宮市総合福祉センター

## 消費税増税の

### 市民生活への影響は

(日本共産党) 佐藤みち子

**問** 市の2014年度予算案は総額3065億4800万円、うち一般会計は1678億4000万円。一般財源の総額は1096億円が昨年より22億円増えている。基金残高は2013年度末で214億円にもなり安定した財政状況である。

4月からの消費税増税は所得の低い人に負担が重くのしかかり格差と貧困をさらに広げることになる。消費税増税が市民生活にどのような影響があると考えるか。

**答** 実質的な物価上昇による家計の負担増に加え、増税前の駆け込み需要とその反動減により、回復基調にある景気の腰折れが懸念される。政府は経済の

好循環を実現するための経済政策パッケージの中で、低所得者や子育て世帯への影響を緩和する給付措置を行うこととしており、本市も新年度予算において給付に要する経費を計上した。

## アサヒビル跡地

### まちづくりの方針は

(公明党) 山田ますと

**問** アサヒビル西宮工場跡地全体のまちづくりについて、半分余りは民間事業者による開発が計画されている。老朽化施設の再配置だけで終わらないために、市のまちづくりの方針は

**答** 民間開発で想定される負の部分を抑えつつ、西宮の将来にとってふさわしいまちづくり、災害に強く、魅力的で活力ある新たな都市拠点の形成に努める。

## 県立西宮病院との

### 機能連携は

(公明党) 山田ますと

**問** 西宮市立中央病院と県立西宮病院とが、同じ公立病院としてお互いに足りない部分を補完し合う機能連携を進める必要があるが、市の考えは。

**答** 公立病院として果たすべき役割は共通しており、医師の派遣元である大学が同じである



利点を活かしながら、連携を強化し、共同して、市民が安心して医療を提供する。

**行政方針での市長の思いは**  
(市民ク改革)岩下 彰

**問** 具体的な取組みを推進する上で、市長の基本的な考え方は、思いは何か。

**答** 半世紀にわたり、西宮を愛する多くの方によって育てられた文化や豊かな自然、快適な生活環境を大切に守りながら、次の時代へ引き継ぎ、他者を思う心を持ちつつ、さらに魅力あるまちづくりを進めていきたい。

**名神湾岸連絡線 市の考えは**  
(市民ク改革)岩下 彰

**問** 名神湾岸連絡線の整備については、国の事業だが地元の名神としてどう考えているのか。

**答** 本連絡線は、市内の交通安全性の向上や周辺地域の環境改善などに一定の効果があり、防災の観点からも広域防災拠点との連絡路として効果が期待される。本市にとっても有効な道路であり、計画目的や効果など市民の理解が得られるよう、適切な取り組みを国に働きかける。

# 各委員会の活動状況

## 12月定例会閉会後から3月定例会開会前までの活動内容 (平成25年12月20日～平成26年2月23日)

総務常任委員会	所管事務調査	中央病院の経営及び改革について など4件
市民文教常任委員会	所管事務調査	施策研究テーマ「特別支援学校の現状と今後のあり方について」など2件
厚生常任委員会	所管事務調査	施策研究テーマ「再生可能エネルギー・省エネルギーの推進について」など6件
建設常任委員会	所管事務調査	施策研究テーマ「狭あい道路への取組みについて」 など2件
議会改革特別委員会	協議事項	議員定数、議会活性化・透明化促進、常任委員会の在り方、議会役職、議会基本条例、議会事務局の強化 などについて

## 3月定例会中の活動内容 (平成26年2月24日～3月20日)

総務常任委員会	予算	平成25年度西宮市一般会計補正予算(第5号) 予算案件1件
	条例	病院事業管理者の給与に関する条例の制定 など条例案件9件
	その他	議案1件、陳情1件
	所管事務調査	西宮市火災予防条例の一部改正(案)のパブリックコメントの実施について など2件
市民文教常任委員会	予算	平成25年度西宮市一般会計補正予算(第5号) など予算案件3件
	条例	西宮市附属機関条例の一部を改正する条例の制定 など条例案件7件
	その他	議案7件
	所管事務調査	「西宮市スポーツ推進計画」(素案)のパブリックコメント(意見提出手続き)の結果について など3件
厚生常任委員会	予算	平成25年度西宮市一般会計補正予算(第5号) 予算案件1件
	条例	西宮市民生委員定数条例の制定 など条例案件2件
	その他	議案1件、請願1件
	所管事務調査	西宮市新型インフルエンザ等対策行動計画(案)の策定及びパブリックコメント結果について など4件
建設常任委員会	予算	平成25年度西宮市一般会計補正予算(第5号) など予算案件5件
	条例	西宮市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定 など条例案件2件
	その他	議案3件、陳情2件
	所管事務調査	下水道使用料における基本水量制の見直しについて など2件
予算特別委員会	予算	平成26年度各会計予算16件を審査するため、委員会に4分科会(総務・市民文教・厚生・建設)を設け、それぞれの所管ごとに審査
議会改革特別委員会	協議事項	中間報告の取りまとめについて

# 一般質問 要旨

質問順に掲載しています

3月定例会では16人の議員が3月4、5、6、7日の4日間にわたり、質問を行いました。紙面の都合から、一部を要旨で掲載します。  
※「問」の部分は、質問した議員が作成しています。

## 消防団の処遇改善を

(公明党) 白井 啓一

問 昨年末に、「消防団支援法」が成立し、消防団の処遇改善と装備の拡充が図られるが、西宮市は「年報酬、出動手当」を国が示している額以上に、引上げるつもりはないか。

答 国が示す参考額は下回っているが、県内の平均や阪神間の他の自治体の平均と比べると高額となっており、今後も国の動きを見極め、適切に設定する。

## 観光案内所の設置

現在の進捗は

(公明党) 白井 啓一

問 西宮の魅力ある観光資源を広くPRし、地域活性を図るため、観光案内所の設置が必要

と提案して来たが、現在の進捗状況はどうか。

答 平成26年度に阪急西宮北口駅の今津線宝塚側ホームに常設の観光案内所を開設するほか、阪神甲子園駅の周辺整備に合わせ、観光案内所の設置に向けて阪神電鉄と協議している。

## 原子力災害への

市独自の対応は

(無所属) よつや 薫

問 兵庫県は、福井県での原発事故時の放射性物質拡散予測を公開。阪神間でも50mSvを超える。予想される放射性物質の市民への情報提供や、安定ヨウ素剤の備蓄は必要ではないか。

答 原子力規制委員会の検討課題に、地域住民と情報共有の在り方、安定ヨウ素剤の投与の判断基準、配布や備蓄の手法などが挙げられている。その動向を注視し、県の防災計画との整合性を図りながら対応する。

## 男女共同参画の推進

事業者に優遇措置を

(無所属) よつや 薫

問 市は、競争入札参加の「兵庫県との男女共同参画社会づくり協定締結事業者」に加点している。市独自の加点制度を作る

べきと考えるがどうか。

答 県の制度の利用件数は多くないが、利用されない理由を分析し、認証制度について事業所への周知と利用促進に努める。



## 南海トラフ巨大地震

防潮門扉の耐震化を

(蒼土会) 草加 智清

問 津波と鳴尾地区の安全性について、昨年度末に県が南海トラフ巨大地震・津波浸水想定図を発表したが、市独自の緊急政策として防潮門扉の耐震化を図るべきでは。

答 県は津波防災インフラ整備5箇年計画暫定版を見直し、新たに鳴尾地区を重点整備地区に位置付け、防潮堤の耐震化などの検討方針を示した。県と連携を図るとともに津波対策事業の早期実施を引き続き要望する。

## 児童育成センター

開設遅れの対応は

(蒼土会) 草加 智清

問 小松児童育成センターについて、第2育成センターの開

設が遅れているが、開設にむけての対応はできているのか。

答 4月からの第2育成センター開設が困難なため、小松小学校と連携の上、学校施設を借用し、利用を希望する全児童を受け入れるよう準備している。



## 阪急武庫川新駅

設置について

(政新会) 坂上 明

問 新駅設置には、その計画決定から実現迄十年の歳月を要し、関係者の高齢化が気になる所だが、今後のスケジュールは。

答 駅の建設に3〜5年、周辺地域の整備には、地元合意に要する時間を含めるとそれ以上の期間が必要であり、都市基盤整備の先行着手も視野に入れ、早期に設置時期を具体化する。

## 西宮市立学校に

国旗の常時掲揚を

(政新会) 坂上 明

問 国旗国歌に対する正しい認識と尊重心を育てる事は極めて重要であり、ソチ五輪が日本

国民としての強い意識と自覚を教えてくれた今、すべての市立学校に国旗の常時掲揚を実施すべきだがどうか。

答 他市の状況も勘案し、教育委員会の中だけで議論するのではなく、現在国で検討されている仮称総合教育会議での協議も踏まえ検討する。

## 学校園の喫煙者への

ルールづくりを

(政新会) やの 正史

問 条例によって学校園内の敷地で喫煙はできないが、現実には喫煙者がいることを踏まえ、今後の喫煙者に対する対応は。

答 県条例では幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校などが建物内のみならず敷地内全域で喫煙ができない施設に指定されており、敷地内に喫煙可能な場所を設置することは困難である。

## 放課後の子どもの

居場所づくりは

(政新会) やの 正史

問 放課後子ども教室など、





放課後の子どもの居場所づくり事業を、今後どのように進めていくべきと考えているのか。

答 放課後子ども教室など放課後の子どもの居場所については、今後、地域の実情に合わせて、学校や幼稚園、公民館などの既存施設の活用や児童館の児童厚生員による支援など、事業の有機的な連携を進める。



はね橋の開閉見直し  
今後の取り組みは

(共産党) 上田さち子

問 マリナ地域の方々の生活道路である「はね橋」開閉時の通行隻数がゼロであることから開閉見直しの取り組みを聞く。

答 27年度以降の西宮旧港周辺の一体的整備に際し設立する協議会で、観光資源としての活用を含め開閉の在り方についても幅広く意見を聞き、26年度中には方針が出せるよう取り組み。

労働者の条件改善

公契約条例の制定を

(共産党) 上田さち子

問 業務委託など、市の仕事を労働者に支払う賃金が生活保護基準より低い県の最低賃金七六一円(時給)並みで、官製ワーキングプアをつくっている。公契約条例を制定し改善すべきと思うがどうか。

答 社会情勢や国などの動向を注視しつつ、現時点では公契約条例の制定によらず、業務を遂行する中で労働者の賃金や労働条件の確保に取り組む。



中央病院の耐震化を

せすにきた理由は

(無所属) たかはし倫恵

問 本市は阪神大震災の激震地であり、多くの命を失った。「住民の命を守る」と言いながら、今日まで中央病院の耐震化をしないできた理由は何か。

答 耐震化工事は、騒音振動による患者への悪影響などのデメリットがあり、老朽化対策にもつながらないことから、総合的に移転新築が最適と判断した。

納税の負担感軽減に

毎月納付の実施を

(公明党) 山口 英治

問 市民税等の課税が高い高齢者で持家の方の為に、固定資産税、都市計画税を一回の納付負担が軽くなるように希望される方に毎月納付ができないか、市の見解をお聞かせ下さい。

答 納税の負担感軽減に加え、口座振替加入率の向上に有効と考えられる。口座振替に限り毎月納付とすることについて先進市の事例や費用対効果などを調査検討する。

西宮養護学校と

医療機関の連携を

(公明党) 山口 英治

問 西宮養護学校と医療連携や看護師の業務派遣をする医療機関が必要だと思うが、市の見解をお聞かせください。

答 国県に対し、市立特別支援学校にも県立と同様の看護師配置を求めるとともに、看護師が安心して医療ケアを行い、研修・相談・指導を受けられるよう医療機関との連携を研究する。

観光資源として

涼宮ハルヒの活用を

(無所属) 谷本 豊

問 西宮北口駅構内に観光案内所を設置されるが、西宮北口と言えば涼宮ハルヒのゆかりの地、涼宮ハルヒを活用した取り組みについて市の考えは。

答 小説に登場する時計塔を復元し、ゆかりのある場所として認知度を高めるため、観光案内所と連携して情報を発信し、観光資源として活用したい。



北口駅前公園の時計塔

高齢者の居場所に

認知症カフェ推進を

(公明党) 竹尾ともえ

問 認知症の症状などのある方が地域・社会と繋がるための居場所づくりや介護家族同士の交流・相談場所となる「認知症カフェ」を市としても展開して

いくべきと考えるがどうか。

答 高須ダイサービスセンターに加え甲山地域包括支援センターでも26年度内に開設予定であり、地域住民が気軽に開設できるよう冊子の作成や場所の確保など普及啓発に取り組む。



市内の認知症カフェ

ジュニア防災士で

防災意識向上を

(公明党) 竹尾ともえ

問 防災教育の一環として、一人でも多くの子どもたちが防災力を高めるために学校と連携し、西宮版「ジュニア防災士」の育成を考えてはどうか。

答 ジュニア防災士の認定書発行は、防災学習意欲の向上につながるかと考えられ、あらゆる角度から児童生徒の防災力向上につながる啓発手法を研究する。(一般質問は6、7面にも掲載)

一般質問(続き)

難病新法成立後も

見舞金制度の維持を

(市民ク改革) 花岡ゆたか

問 「難病新法」が成立した場合、対象患者数が増えるが、現行の見舞金制度を維持するべきではないか。

答 法に基づく医療助成の対象疾患や市内の患者数などが未確定な現時点では、今後の方針は未定であり、国の動向を注視し、制度の在り方を検討する。



附属機関に他市や

県の職員の参加を

(市民ク改革) 花岡ゆたか

問 附属機関において、その附属機関で扱う題材にふさわしい近隣他市もしくは県の職員に参加してもらい、本市の職員も他市の同様の会議体へ派遣し、官官協働を図れば相互に有益ではないか。

答 附属機関には、できるだけ

幅広い分野から多様な立場の委員を選任し、特別な場合を除き、市職員や他の行政機関の職員を選任しないこととしており、今後もこの方針を継続する。

上下水道料金見直し

実施時期は

(日本共産党) 杉山たかのり

問 水道・下水道の料金体系の見直しを求めてきたが、月10㎡の基本水量制を廃止することで検討されている。2015年度に実施はできるのか。

答 水道料金と下水道使用料の基本水量制の廃止は同時に行うのが最善であると考えており、水道事業の次期財政計画が始まる28年度より前に実施したい。



UR借りの上げ住宅

継続入居の方針を

(日本共産党) 杉山たかのり

問 UR借上げ住宅の継続入居を他自治体が認める中、市は全員の転居の方針を変えない。

前議会、「住み替え困難者が生じた場合」と言及しており、継

続入居の方針を示すべきでは。

答 借り上げ期間満了時に返還する基本方針に変更はないが、個別事情により、住み替えに配慮が必要な世帯に対しては、専門家の意見などを踏まえきめ細かく対応し、負担軽減に努める。

市立中学校に

男女混合名簿導入を

(むの会) 長谷川久美子

問 男女別名簿は国連からも「早急に改善すべき」と指摘されている。新年度、阪神間の中学校で混合名簿未実施は西宮市立だけになる。今後の取組は。

答 県内や他市の取り組みを情報収集し、調査・研究をしてきた。今後、学校が判断する際に参考となる資料の提供を検討する。

訪問型病児・病後児

保育支援の導入を

(むの会) 長谷川久美子

問 勤労者が急に仕事を休むことは困難。朝、子どもの発熱に気づくとパニックだ。自宅で安心して子どもを育ててもらえる病児・病後児を対象にした訪問型保育支援を導入してはどうか。

答 訪問型の病児・病後児保育事業は初期投資が抑えられ、

事業参入がしやすく、利用者側も自宅で見てもらえる安心感があるなど、有効な手段であるため、今後、調査・研究を重ねる。



名塩道路整備事業の

進捗状況は

(蒼士会) 八木米太郎

問 国道176号・名塩道路整備事業のうち、名塩工区八幡トンネル工事や東久保工区用地取得の進捗状況はどうか。

答 八幡トンネル工事は平成26年10月末の貫通を目指し進められ、26年度末の供用に向けて着実に進捗している。東久保工区には、市も国の用地交渉に同行し、地権者の協力を得ながら、事業の進捗に努めている。

市民が主体の

平和非核運動推進を

(蒼士会) 八木米太郎

問 平和非核運動の推進は都市宣言文のとおり、市民が運動

主体となり、行政がそれを支援する形がよいと思うがどうか。

答 市民自ら運動主体となり、市がそれを支援することが望ましいと考えており、原水爆禁止西宮市協議会の一層の活性化を図るとともに、地域団体などの自主的な運動を推進するための支援についても検討する。



平和の交響(西宮市平和モニュメント)

今後の塩瀬体育館の

駐車場料金設定は

(政新会) 吉岡 政和

問 塩瀬体育館の駐車場料金について、今後の見通を示せ。

答 周辺道路の安全確保、他の体育館の無料駐車場とのバランス、駐車事業の収支状況も考慮の上、施設の立地特性にも配慮しつつ、関係部局や指定管理者と協議を進め、平成27年4



月の実施に向け、料金の無料化も視野に入れた抜本的な見直しに取り組む。



市立塩瀬体育館の駐車場

小学校教科書採択の取り組みは

(政新会) 吉岡 政和

問 次期小学校教科書採択について、当局の考えを寄せ。

答 23年度の中学校教科書の採択替えでは、調査研究の観点... 西宮の子供の課題を踏まえる、学習指導要領などの趣旨を踏まえる、採択事務の透明性を高めるなどの改善を行った。次期小学校教科書の採択替えでも、公平性や透明性の確保に努める。

政策法務の能力向上

(市民ク改革) 田中 良平

問 本市の法制担当が現在4

名だが、基本法務にくわえて本市の各部署と連携して中心的な存在として政策法務に当たれる体制と考えているのか。

答 政策法務は、所管部署が主体となりつつ、法制担当者がサポートする連携体制が重要である。今後も事務量は増すと考えられ、連携体制を点検し職員全体の法務能力向上に努める。



市民後見人を

(市民ク改革) 田中 良平

問 市民後見人について、市長申し立ての場合で、専門的知識が比較的必要でないような案件は、市民後見人の支援体制も

整え、市民後見人を候補者として申し立ててみてはどうか。

答 権利擁護支援センターで弁護士などの意見を参考に市民後見人の推薦基準を設定し、市長申し立ての案件で後見人候補として推薦できるよう取り組む。

請願

【みなし採択】※

○ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願 ※「みなし採択」とは、同じ趣旨の意見書案が可決されたため、「採択」とみなされたものです。

所属変更

平成26年2月14日付で田中正剛議員が蒼士会を脱会され、政新会へ入会されました。

この結果、政新会の議員数は9名になりました。

議会運営委員の

辞任・選任

平成26年2月14日付で新たに田中正剛議員(政新会)が議会運営委員に選任されました。

また、平成26年4月13日付で木村嘉三郎議員(蒼士会)から辞任願が提出されました。

議会改革特別委員の

辞任・選任

平成26年2月14日付で田中正剛議員から議会改革特別委員の辞任願が提出され、蒼士会から新たに八木米太郎議員が選任されました。

市議会を傍聴してみませんか

受付場所

- ・本会議... 議会棟4階 傍聴受付
・委員会... 議会棟3階 議会事務局

問い合わせ先

議会事務局 議事調査課
☎(0798)35-3380

広報委員の

辞任・選出

平成26年2月14日付で田中正剛議員から広報委員の辞任願が提出され、蒼士会から新たに八木米太郎議員が選出されました。

議員の退職

今村岳司議員、たかはし倫恵議員が、平成26年4月に実施された西宮市長選挙の候補者となつたため、公職選挙法の規定により、平成26年4月13日付で市議会議員を退職されました。



3月定例会

主な審議日程

Table with columns for dates from 20th to 24th of March and 28th/24th of February, listing various council sessions and committees.

平成26年3月定例会

議案等審議結果一覧表 会派別

(○賛成、×反対)

Table with columns for decision results (採決結果) and party names (会派名) including 政新会, 公明党, 蒼土会, 市民ク改革, 日本共産党, むの会. Rows include budget items (予算), regulations (条例), general cases (一般案件), and personnel (人事).

採決結果の○は、提出された議案などに対して全会一致または賛成多数で可決したことを示しています。なお、人事案件の場合は同意したことを示しています。

※議案等に対する各議員の採決態度については、市議会ホームページでご覧になれます。

◆問い合わせ先◆
議会事務局 議事調査課
☎0798-353380

任期満了に伴う西宮市長選挙の結果を受け、新市長が平成26年5月16日付で就任することなどにより、平成26年6月定例会の日程案(現在、ホームページで公開中)が変更される場合があります。
日程案が変更になった場合は、議会棟3階の議会事務局窓口およびホームページでお知らせいたします。

9月定例会日程について

議会情報のご案内
市議会ホームページに、新しく常任委員会の施策研究テーマやその報告書を掲載しました。ぜひご覧ください。
http://www.nishi.or.jp/homepage/shigikai/
または 西宮市議会 で 検索 してください。